

まほるば



第53号

2005年11月発行

弘前病院の理念

わたしたちは、医の倫理と病院としての使命に基づき患者さまの生命と人権を尊重し
良質かつ適切な医療を提供するため、最善の努力をします

【運営方針】

1. 十分な説明と理解・同意に基づく医療を行い、患者さまが納得される結果を得るために最善をつくします
2. 皆さまの立場を理解し、プライバシーを尊重し、感謝の心で、常に良質で、清潔で、安全な医療を行います
3. 職員一人一人が、常に新しい知識と技術の習得に努め、健全で効果的な経営を目指します
4. 臨床研究と教育・研修、情報発信など地域に開かれた病院を目指します
5. 時代に求められる医療体制の充実と療養にふさわしい環境の整備を目指し、全職員が研鑽します

色鮮やかな弘前の秋 — 弘前城菊と紅葉まつり —

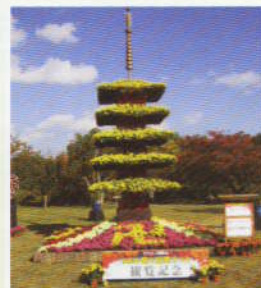


弘前公園内の1,000本の楓、2,600本の桜の紅葉も美しく色づき、今年も10月21日(金)～11月6日(日)の期間、「弘前城菊と紅葉まつり」が開催されました。

11月に入ってから天候にも恵まれ、会場の植物園内の「義経」を題材とした豪華絢爛な菊人形や、動物などをかたどった菊のトピアリー、圧巻の菊の岩木

山や五重塔など、秋の穏やかな陽光に、色鮮やかに映えていました。そのほかにも、直接ウサギなどに触れられる動物ふれあいコーナーや、ミニSL 菊花号の運行、園内スタンプラリーもあり、子供達も大喜びでした。

昭和37年(1962年)に、「菊ともみじまつり」としてスタートしたこのまつりも、もう43年目。喫茶処で、その歴史に想いを馳せつつ抹茶を一品。深まる秋を贅沢に堪能できました。



庶務係 工藤 真淑

第53回生 戴帽式

10月19日(水)、看護学校において第53回生の戴帽式が行われました。

当日は古武青森病院長、吉家看護部長らご来賓をお招きし厳かな雰囲気の中で行われました。

学生達は、いつもとは違い、少しばかり緊張した様子で、須藤教育主事から憧れのナースキャップを戴きました。ナースキャップを戴いた嬉しさとともに、責任感も感じたようです。周囲の人達は、白衣を着ていることで、学生であっても看護師と同じように期待をします。その期待に応えるために学ぶことを大切にがんばっていきたいと思いを新たにしていました。

この戴帽式の日、学生達がとても嬉しそうな表情で

輝いて見えました。学生達にとって看護を学ぶことの意味を考えたり、今後の学習への動機付けになり、とても有意義な一日でした。



1学年担任 内山恵吏子

臨床工学技士の仕事

臨床工学技士は、医療に関する国家資格の一つで、「厚生労働大臣の免許を受けて、臨床工学技士の名称を用いて、医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする者」（臨床工学技士法第2条）と定められています。生命維持管理装置とは、人の呼吸、循環又は代謝の機能の一部を代替し、又は補助することが目的とされている装置をさします。

具体的な内容としては、①慢性腎不全患者様への血液透析業務、②高圧酸素治療装置の操作、③手術室での内視鏡、顕微鏡、特殊機器のセッティング、④心臓や大血管手術での人工心肺装置の操作、⑤救急・集中治療領域での急性血液浄化業務、呼吸療法業務、補助循環装置のセッティングなど、⑥循環器関連のカテーテル室業務、⑦人工呼吸器等の医療機器管理業務などです。同じ臨床工学技士でも、その病院によって行う業務は様々です。

当院での私の仕事は、病棟で使用する人工呼吸器や、シリンジポンプ、輸液ポンプ、超音波ネブライザーなどの保守・管理を行っています。これらの機械は中央管理室に置いており、機械を使用する時はここから持ち出すことになります。使用後は機械の清掃、動作確認を行い、使用可能な状態にしておきます。病棟で人工呼吸器を使用した場合は、人工呼吸器のトラブルは



即命に関わることなので、機械が問題なく動いているかを確認に行っています。しかし、点検・確認をしているから絶対に安全とは言えません。人工呼吸器などの生命維持装置は、常に患者様の側にスタッフがいる体制の下で使用しなければならないと思っています。

また、これら医療機器の保守・管理の他に手術室で、眼科や耳鼻咽喉科の顕微鏡のセッティング、外科の内視鏡手術での立ち会い、整形外科の手術でのイメージ操作などを手伝ったりもしています。何か機械がおかしいということがあれば呼ばれたりもします。

当院に来て3年目になりますが、職員みなさんのおかげでここまでやってこられました。私のできることなど微々たるものですが、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

臨床工学技士 谷川原 勝

「リーダー研修Ⅱ」を終えて



卒後10～20年目の看護師を対象とした「リーダーシップを生かした業務改善」についての研修が3回に分けて行われました。

5月31日、6月30日に行われた研修では、講義と、バラバラに切られた新聞紙を元どおりにつなぎ合わせるというゲームを取り入れたグループワークをとおして、リーダーには状況を読み取る力とメンバーそれぞれについての十分な理解が必要であると学びました。私は今までリーダーシップとは、リーダーがメンバーに指示を出し、メンバーは指示に従って行動しその日のチームの円滑な看護が実践できれば良いと考えていました。しかし、状況に応じて指示型・参加型・委任型と対応を変えてメンバーの意欲や能力を引き出し、目標達成に向けてチーム全体に働きかけることがリーダーシップの本質であると学びました。

10月20日の研修では、7月から各病棟で改善する課題を決め、約3か月間取り組んだ結果をポスターセッションで発表しました。私は、患者様を支えるご家族に対しても援助していくことが病棟全体の看護の質の向上につながると考え、ご家族との関わり方を見直すことを課題としました。方法として、プロセスレコードを用い、ご家族との関わりの振り返りを病棟全体へ働きかけました。病棟スタッフ全員で振り返ることで、色々な視点からの意見や思い、考えを出し合い、お互いに気付くことができました。また、患者様とご家族に共感することの大切さや、常に慎重な対応を心がけることが必要であることを再認識することができました。

今回の研修において、看護とはみんなで知恵を出し合い、力を合わせて目標に向かっていくチーム医療であると実感しました。その中で自分の役割は、「困ったな」、「変だ」と思ったことはありのままに受け止めて問題提起すること、みんなが目標を意識して達成へと向かう力が出せるようにスタッフを支援していくことだと思います。

今後はこの研修によって得た学びを基にして、状況に合わせた適切な対応ができるように自分を成長させていきたいと思っています。

東3病棟看護師 赤平真紀子

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (H17年11月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
内 科		人 見 博 康	小 沢 一 浩	人 見 博 康	小 沢 一 浩	小 沢 一 浩
呼吸器科		山 本 勝 丸	中 川 英 之	中 川 英 之	山 本 勝 丸	中 川 英 之
消化器科		佐 藤 年 信	佐 藤 年 信	佐 藤 年 信	中 畑 元	佐 藤 年 信
		吉 谷 元	中 畑 元	吉 谷 元	(吉 谷 元)	中 畑 元
精 神 科 (外来診療は休診中)		● 休 診	● 休 診	● 休 診	● 休 診	● 休 診
小 児 科		杉 本 和 彦 野 村 由美子 (佐 藤 啓)	野 村 由美子 遠 藤 泰 史	杉 本 和 彦 神 田 進 啓 (佐 藤 啓)	神 田 進 啓 遠 藤 泰 史	野 村 由美子 杉 本 和 彦 佐 藤 啓
外 科		山 中 祐 治 木 村 寛	高 橋 克 郎 三 上 勝 也	横 山 昌 樹 山 中 祐 治	横 山 昌 樹 高 橋 克 郎	三 上 勝 也 木 村 寛
整 形 外 科	午前	柿 崎 寛 佐々木 資 成 近 江 洋 嗣	柿 崎 寛 菅 原 卓	佐々木 資 成 田 中 大	佐々木/柳 澤 大 鹿 周 佐	柿 崎 寛 田 中 大
	午後	/	/	/	/	柿 崎 寛
脳神経外科		● 休 診	● 休 診	木 村 正 英	● 休 診	● 休 診
皮 膚 科	午前	鳴 海 博 美 間 山 淳	鳴 海 博 美 間 山 淳	鳴 海 博 美 間 山 淳	鳴 海 博 美 間 山 淳	鳴 海 博 美 間 山 淳
	午後	間 山 淳	/	鳴 海 博 美	/	間 山 淳
泌尿器科		橋 本 安 弘	橋 本 安 弘	橋 本 安 弘	橋 本 安 弘	橋 本 安 弘
産婦人科		真 鍋 麻 美 葛 西 亜希子	佐 藤 春 夫 葛 西 亜希子	真 鍋 麻 美 葛 西 亜希子	● 妊 婦 検 診	佐 藤 春 夫 真 鍋 麻 美
眼 科	午前	田 中 洋	蒔 苗 順 義	田 中 洋	蒔 苗 順 義	田 中 洋
	午後	蒔 苗 順 義	/	/	蒔 苗 順 義	/
耳鼻咽喉科		黒 田 令 子 阿 部 尚 央	黒 田 令 子 阿 部 尚 央	● 手 術	黒 田 令 子 阿 部 尚 央	黒 田 令 子 阿 部 尚 央
放 射 線 科	午前	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄
	午後	/	阿 部 由 直	/	/	/
麻 酔 科		● 手 術	高 澤 鞆 子 工 藤 明	● 手 術	高 澤 鞆 子 工 藤 明	● 手 術

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

◆専門外来等 (H17年11月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
小 児 科	午 前					
	午 後	10か月健診 1歳健診	アレルギー外来 発達外来 4か月健診	1か月健診 7か月健診 予防接種	慢性疾患外来	
外 科	午 前			ストーマ外来 (第2水曜)		
	午 後					
産 婦 人 科	午 前				妊婦健診	
	午 後	更年期外来		産褥健診 妊婦オリエン テーション	妊婦健診	
耳鼻咽喉科	午 前					
	午 後		内視鏡外来		補聴器外来	
セカンドオピニオン	午 前				予 約	
女性専用外来	午 後			第1・3水曜日		

※詳しい診察内容や予約などについては、各診療科にお問い合わせ下さい。

ふるさと紹介



私の故郷は、「最北端の碑」がある稚内市（宗谷岬）から、オホーツク海沿いに車で2時間ほど南下した猿払村という人口4千人ほどの半農半漁の小さな村です。物覚えの付いた頃から高校卒業まで住んでいましたが、就職後は稚内で10年ほど過ごし、その後2～3年毎に北海道各地を転々とし、現在は札幌に住んでいます。札幌に住み始めてから既に20年以上が経ちました。こんな状態ですから、本当は

故郷と言えるものはないのかも知れませんが、それでも子供の頃に過ごした小さな村のことは、一緒に遊んだ同級生と併せて懐かしく思い出されます。

また、昔200海里問題で北洋漁業が壊滅的打撃を受け、人口流出とともに寂れた村になりましたが、その後、ホタテの養殖に活路を見出し、今は外国への輸出で「ホタテ御殿」と言われる家が建ち並んでいます。小樽にも「鱧御殿」と言われる名所がありますが、知床・羅臼の「鮭御殿」等、北海道各地に豪邸が建ち並ぶ地域があります。暇があれば、人の手が加わっていない大自然とともに、あの豪華な家は一見の価値があると思います。最近、厳しい自然をテーマにしたイベントが各地で行われています。札幌の雪祭りは有名ですが、その他にも紋別の「流氷祭り」、層雲峡の「爆氷まつり」、陸別の「しばれフェスティバル」等、観光客が増加しているイベントが多数あります。北海道出身者としては、是非一度は、皆さんに見に行っていたきたいと願っています。

事務部長 立川 政明

養生訓練行われる ―原子力安全対策棟―

二次被ばく医療を受け持つ当院と三次被ばく医療を受け持つ弘前大学医学部附属病院との共同で6月より行われてきた勉強会（月1回）の一環として、今回初めて患者受入れ施設での訓練が行われました。

10月11日（火）午後5時30分、当院原子力安全対策棟に関係者約50名が集まりました。はじめに、弘前大学医学部救急・災害医学講座の浅利靖教授と日本原燃の放射線管理要員による説明と指導で、受入れ施設の一角に放射能に汚染した患者様からの二次汚染を防止するための“ビニールシート”を敷き詰めました。さらにその中央部の除染などを行う汚染作業区域（ストレッチャー約3～4台分のエリア）にポリエチレン加工した特殊な“ろ紙”を敷き、囲いを設けるなどの作業を行いました。養生は、汚染作業区域内で使用される点滴台や无影灯など



の器材にも及び、参加者らは初めての作業を体験しました。

今後、体制の確立と維持のために、訓練を継続的に行っていくことの重要性を痛感しました。

副診療放射線技師長 庄司 俊雄

★ 作品（川柳）募集のお知らせ

当院では、職員はもとより患者様からも、広報誌「まほろば」に掲載する“川柳”を募集しています。たくさんの方の応募をお待ちしています。（編集部）

【応募方法】◆ 用紙は、A4版であれば何でも結構です。

◆ 応募は、「応募用紙を入れる箱」を駐車券をパンチしている机の上に設置していますので、その箱に入れて下さい。

発行元 **独立行政法人国立病院機構弘前病院**
Hirosaki National Hospital
責任者 副院長 佐藤 年信

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>